

令和5年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 商工労働 課

1. 基本情報

1101

施設名	伊丹市立産業振興センター		
施設の設置目的	産業の振興並びに情報化の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱： 市民力・にぎわい・活力 施 策： 商工業 実施施策： 地域産業の振興と企業活動支援		
指定管理者の名称	伊丹商工会議所 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	延べ利用人数 (単位： 人)	
	指標の意味	来館者数+セミナー参加者数	
	今年度の目標値	59,000	上期の実績値 6,902

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	R元	R2	R3	R4	R5 (上期)	R5 (通期)
		来館者数 (人)	61,701	26,330	20,361	155,477	44,670	6,774
貸し室稼働率 (%)		72	57	34	92	62	22	-
講座開催回数(回)		129	15	19	19	21	10	-
講座参加者数(人)		1,362	370	354	384	329	128	-

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023) 計画	令和5年度 (2023) 実績 (上期)	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	182	184	352	263	
	その他	2,096	150	120	77	
	指定管理委託料	49,510	49,807	54,398	29,487	
	①合計	51,788	50,141	54,870	29,827	
支出	維持管理	光熱水費	2,847	3,309	5,043	1,408
		清掃等委託料	5,376	5,760	5,737	2,250
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,169	927	1,987	455
	運営	人件費	30,178	27,884	31,526	11,923
		事業等経費	9,002	9,965	10,131	4,328
		その他	516	636	446	232
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	49,088	48,481	54,870	20,596		
純収支 (①-②)		2,700	1,660	0	9,231	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H30	R元	R2	R3	R4	R5 (上期)
		市の収入	5,858	6,001	6,286	3,214	5,507
(内、使用料収入)		3,867	1,416	3,244	383	2,645	1,791
市の支出		62,779	196,319	49,243	49,678	49,971	29,544
(内、指定管理委託料)		52,216	41,862	49,043	49,510	49,808	29,487
実質経費 (歳出-歳入)		56,921	190,318	42,957	46,464	44,464	26,287

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に行い、常に清潔に保たれているか。	B	毎日清掃を実施	B	利用者が快適に利用できるよう館内は清潔に保たれている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B	定期点検を実施	B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B	計画的に管理	B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B	適時相談を実施	B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B	適切に実施	B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	適切に配置	B	人員不足が生じた期間もあるが、運営に支障ない人員の確保に注力している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B	月2回職員研修実施	B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	適切に配置	B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を完備	B	緊急連絡網は整備されており、消防訓練も適正に実施。
		避難訓練を実施しているか。	B	年2回実施	B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	顧客目線で運営	B	アンケートによる評価を実施し、結果を捉えた上で更なる向上へ努めている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B	アンケートを実施	B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B	適切に対応	B	
		特定利用者を優先したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B	適切に運営	B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	適宜協議しつつ実施	B	市と協議の上適正に実施されている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B	ほぼ予定通り実施	B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	適切に保管	B	適切に取り扱われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B	適切に管理	B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B	積極的に実施	B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適正に運営	B	適正に運営。
経理処理は、適切に行っているか。		B	適切に処理	B	適切に実施。	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	協定書・仕様書等に基づく管理運営が適正に行われている。コロナの影響による定期的な会議の見直しやオンライン会議の普及などにより、貸室利用はコロナ前の水準を下回るが、稼働率向上に向けた情報発信や周知に注力している。下期も利用者目線を心掛けつつ、市の産業振興に資する各種講座の実施や、主体的な施設運営を期待したい。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和5年 4月 1日～令和5年 9月 30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	Q1. 施設内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか →A. はい57 (100%)、いいえ0 (0%)	アンケートの結果から見ると、清掃面や接遇、また全般に関しても利用者の満足度は高い。今後も引き続き良好な状況を維持するだけでなく、5Sを念頭に置いて改善を進めていく。
回答者数	Q6. 施設を利用して全般的な満足度はいかがですか	
57	→A. 大変満足43 (75%)、満足14 (25%)、不満・大変不満0 (0%)	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
貸室稼働率について、実績に対して割合が高く算出されている。	令和5年度より、稼働率の算出方法を改めることとし、利用実績を利用可能区分で除した割合を用いることとした。
利用状況における講座開催回数については、相談事業の受付回数を含まないこと。	令和5年度より、相談事業の受付回数は除き、セミナー等講座の開催回数を用いることとした。